

北海道各地から産出する黒曜石
その52

釧路地域～露頭写真～ (Kushiro Area)



写真1 鶴丘A地点。第3段丘堆積層からなるスキー場斜面からデイサイト質溶結凝灰岩中の黒曜石レンズの礫を採取できる。



写真2 鶴丘Aの産出状況。写真の中央部に黒曜石レンズの部分の礫がある。第3段丘堆積層からは、この類ばかり採取できる。



写真3 舌辛原野A地点。露頭は更新世前期に相当する釧路層群。最上部に第3段丘堆積層が見られる。写真右下に車両が見える。



写真4 舌辛原野Aの産出状況。軽石を主体とする火砕流堆積物中に2.0cm前後の黒曜石礫(釧路I組成グループ)が含まれる。



写真5 舌辛原野A地点。釧路層群の上部に位置する第3段丘堆積層中のデイサイト質の溶結凝灰岩。黒曜石レンズを含む。



写真6 久著呂川A地点。河床礫の中に黒曜石礫が含まれる。量はさほど多くはないが確実に黒曜石を採取できる。



写真7 舌辛原野Aで採取。釧路層群中の火砕流堆積物から産出。円礫で黒色ガラス質の黒曜石が目立つ(釧路I組成グループ)。



写真8 久著呂川Aで採取。長径2.0cm 前後の角張った黒曜石の礫が目立つ。釧路II組成グループに分類できる。

Mukai Masayuki

(学芸員 向井 正幸)

旭川市博物館HP

地学シートHP



地学Sheets

Asahikawa City Museum

